

社外表彰

建築本部の松下誠さんが、2月17日に静岡県都市住宅部より、平成15年度静岡県都市住宅部優良建築・設備工事賞総務室長表彰を受賞しました。

この表彰は、建設業の技術向上と健全育成を目的に県が本年度創設し、今回が初の表彰で、14年度に完成した請負金250万円以上の建築、電気、機械工事のうち、特に優秀な施工の企業、技術者を選んだものであります。松下



さんは、平成14年度春野高等学校校舎13耐震補強建築工事における優良技術者として表彰されました。

なお、今回の表彰では、県内で優良工事部門5件、優良技術者部門5名が受賞されており、松下さんは数少ない表彰の中の1名ということで、会社としても非常に名誉なことであり、今後も益々の活躍をお願い致します。



土壌汚染浄化工事について

環境事業部 平田 昌宏

土壌汚染対策法が施行されて1年が経ちました。弊社も三菱マテリアル資源開発(株)との土壌汚染調査浄化事業に関する業務提携後、同じく1年が経とうとしています。

土壌汚染概況調査から始まり、小規模ながら汚染浄化工事を数件受注し、現在も中規模な汚染サイトを施工中です。

近年は各社とも公害問題に重点を置き、使用する薬剤やその取扱管理も厳しくなったと思われます。過去の負の遺産を何とか除去したいと考える事業所が今回の法律を契機に増えたものと考えます。

機械製造工場では洗浄用の揮発性有機化合物やメッキ処理工程で使用するシアン化合物・六価クロムによる汚染が多いようです。掘削除去、酸化還元による無害化処理等が浄化工事の内容となっております。



**自走式(車載型)分析器にて
自宅まで測定に伺います。**
シックハウス症候群の取組み(統報) 弊社のシックハウス対策としての取組みの目玉で、補助金を頂き開発している車載型大型チャンバー(写真)。恒温恒湿装置により、清浄な空気を温度・湿度・流量等制御し、検体から放散する化学物質を捕集し、分析器により分析します。

車載型ですので日本全国出張測定ができ、建築現場においては使用する材料を、また竣工後購入する家具・カーペットなどの測定・分析も可能です。現在、実験と改良を重ねており、近日常には実用可能となりそうです。

第35回静岡県青年の船研修を終えて

土木本部 伊藤直樹

「豊かな人間像を求めて」をメインテーマとし、仲間づくり・リーダーシップ・社会参加・国際社会について、プロックワークショップ(自分自身の心の変化の確認)・日韓レセプション交流・フリーアクト(班別自由散策)・フリープロブレム(班別課題研修)などを通じて研修してきました。

研修参加者には、学校の先生や、自動車関係の営業の人、郵便局員もいれば主婦をしながら大学に通っている人など様々でした。その人達と研修を進めていく上で、各職業の大変な所や困っている事などを話す機会があり、学校では学級崩壊があったり、自動車は色の選択ひとつで売上が大きく変わったり、郵便物が届かないから何とかしると言われて調べたら宛名がなかったなど、業種が変わればいろいろな苦労があるんだと思う話を数多く聞く



ことができました。

また、フリーアクト・フリープロブレムでは班で計画したプランに沿って韓国を散策しました。旅行会社のツアーと違って、自分達で韓国式地下鉄に乗ったり、韓国式タクシーを捕まえ目的地に行ったり、大きな市場だけでなくちょっとした裏路地の市場に行ってみたり、そこで直接韓国語で値段の交渉をして物を買ったりしました。今思えば、本場の韓国の姿に出会い、体験できたのだと思います。韓国では、入国の時から日韓友好という事で、韓国青

年団が出迎えに来てくれました。

研修中は、韓国の青年達と食事をしながら親睦を深める日韓レセプションパーティーが2回ありました。1回目は、片言の韓国語と英語で話をしたので、なかなか思っている事が伝えられなくて、翌日の班行動に一緒に来てもらうようお願いしか出来ませんでした。2回目は、日本に留学していた人ばかりだったので、まるで日本にいるみたいで嬉しくなりました。特にリーさんという女性は、吉野屋の牛丼は汁だくが好きですか? などと言ってくらいでびっくりしました。もうひとりには孝志さんといって、一昨年末まで日本で下水の設計コンサルタントをしていたそうで、かなり仕事の話で共感でき、今でもメールをしています。ただ一つだけ、韓国青年と話した中で、小泉首相の靖国神社参拝の事があり少し複雑な気持ちになりました。国が変われば、もの考え方や価値観が変わるんだと痛感したものです。

最後に、今まで日本の静岡という所でしか生活した事の無い自分が、この研修を通して多くの仲間と信頼しあ



い、共感し、また渡航地においては韓国青年と友好を深める事ができ、素晴らしい研修を終える事ができました。また、この研修に学んだ事を、今後の仕事や自分自身の人生に役立てていきたいと思えます。